

大学院学生便覧

人間文化研究科

臨床心理学専攻

2026年度

山梨英和大学

目 次

2026 年度学年暦（行事予定表）	1
2026 年度大学院開講科目一覧表	2
1. 学 籍	
1.1 学籍番号	3
1.2 修業年限と在学年限	3
1.3 休 学	3
1.4 復 学	3
1.5 退 学	3
1.6 除 籍	3
2. 履 修	
2.1 科目ナンバリング	4
2.2 カリキュラムマップ	4
2.3 授業時間	5
2.4 成 績	5
2.5 大学院人間文化研究科の履修	6
2.6 登 録	7
3. 臨床心理士並びに公認心理師受験資格取得	
3.1 臨床心理とは	8
3.2 臨床心理士の受験資格	8
3.3 受験資格を得るための科目	9
3.4 公認心理師とは	10
3.5 公認心理師の受験資格	10
3.6 受験資格を得るための科目	11
4. 実 習	
4.1 「臨床心理基礎実習」について	12
4.2 「臨床心理実習ⅠA～D（心理実践実習）」について	12
4.3 「臨床心理実習Ⅱ」について	13
5. 修 了	
5.1 修了に必要な単位数	14
5.2 修士論文について	15
5.3 修士論文執筆要綱	18
6. 学生生活上の諸注意	
6.1 通知連絡	21
6.2 休講・補講	21
6.3 事務取扱時間	22
6.4 学生証	22
6.5 各種証明書	22

6.6	各種届出	22
6.7	奨学金制度	23
6.8	図書館の利用	23

2026 年度時間割表

2026年度 学 年 暦（行事予定表）

前期 2026年4月1日（水）～9月23日（水）

	月 日	行事
4月	2日（木） 3日（金）・8日（水） 8日（水） 8日（水）～13日（月） 13日（月） 14日（火） 24日（金） 29日（水）	入学式 オリエンテーション 午後：健康診断 通年・前期履修登録期間 通年・前期授業開始 前期始業礼拝 担当教員希望届及び修士論文テーマ届提出締切（1年次） 祝日開講日
5月	1日（金） 7日（木） 25日（月）～29日（金） 27日（水）	臨時休業日 修士論文中間報告会（4・5時限） キリスト教教育週間（1・2時限短縮） 創立記念日 ※通常授業実施日
6月	4日（木） 25日（木）	予備日 前期修了予定者修士論文提出締切
7月	9日（木） 28日（火）・29日（水）・30日（木）・31日（金）	前期修了予定者修士論文発表会 予備日
8月	8月3日（月）～9月23日（水） 8日（土）～16日（日） 17日（月）・18日（火） 25日（火） 25日（火）～27日（木）	夏季休業 一斉休暇（学校閉鎖）期間 前期科目追試験 前期科目成績発表 前期科目成績異議申立期間
9月	10日（木）～15日（火） 11日（金）	後期履修登録期間 前期学位記授与式

後期 2026年9月24日（木）～2027年3月31日（水）

	月 日	行事
9月	24日（木）	後期授業開始、後期始業礼拝
10月	5日（月）～9日（金） 14日（水） 30日（金）	修士論文仮題目提出（1年次） 半日修養会 1・2限通常授業なし 学園祭準備のため授業なし
11月	10月31日（土）・11月1日（日） 12日（木） 18日（水） 24日（火） 24日（火）～27日（金）	学園祭 予備日 1・2時限通常授業実施 3・4・5時限予備日 クリスマスツリー点火祭 4・5時限通常授業なし 修士論文題目届提出（2年次）
12月	11日（金） 16日（水） 23日（水）～1月7日（木） 25日（金）～1月4日（月）	クリスマス礼拝 1・2時限通常授業なし 燭火礼拝 冬季休業（12月25日はクリスマス休業日） 一斉休暇（学校閉鎖）期間
1月	8日（金） 13日（水） 15日（金） 26日（火） 28日（木）・29日（金）	授業再開 修士論文提出締切 大学入学共通テスト準備 3・4・5時限通常授業なし 1・2・3時限予備日 4・5時限通常授業実施 予備日
2月	4日（木） 8日（月）・9日（火） 22日（月） 22日（月）～25日（木）	修士論文発表会 通年・後期追試験 通年・後期科目成績発表 通年・後期科目成績異議申立期間
3月	2月2日（火）～3月31日（水） 15日（月） 16日（火）	春季休業 卒業礼拝 学位記授与式

※大学で行われる入試日については別途データ配信される学年暦をご参照ください。

2026年度 大学院開講科目一覧表

(※1) 6つのポリシー (D1～D6) と授業の関連性を以下の3つの記号で表記しています。
◎：深く関連している、○：関連している、
—：◎や○と比較すると関連は弱い

区分	ナンバリングコード	授業科目名	区分	単位数		履修年次	期間	2026年度担当者	備考	ポリシーと授業の関連 ※1							
				必修	選択					D1	D2	D3	D4	D5	D6		
基幹科目	CP5001	臨床心理学特論Ⅰ	講義	2		1	前期	新居みちる		◎	◎	◎	○	○	○		
	CP5002	臨床心理学特論Ⅱ	講義	2		1	後期	新居みちる		◎	○	◎	○	◎	◎		
	CP5003	人格心理学特論	講義		2	1・2		後期	石橋 泰		◎	◎	◎	◎	○	○	
	CP5004	発達臨床心理学特論	講義		2	1・2		前期	森 稚葉		◎	◎	◎	○	○	—	
	CP5005	家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講義		2	1・2		集中	藪垣 将	公認心理師	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	CP5006	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	講義		2	1・2		後期	西田俊男	公認心理師	◎	◎	◎	○	○	—	
	CP5007	障害者 (児) 臨床心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	講義		2	1・2		前期	小林真理子	公認心理師	◎	◎	◎	○	◎	○	
	CP5008	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	講義		2	1・2		集中	水本有紀	公認心理師	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	CP5009	投映法特論	講義		2	1・2		後期	黒田浩司		◎	◎	◎	◎	○	○	
	CP5010	生と死の臨床特論	講義		2	1・2		後期	開講せず		○	○	○	○	○	◎	
	CP5011	教育分野に関する理論と支援の展開	講義		2	1・2		集中	福田憲明	公認心理師	◎	○	—	○	◎	—	
	CP5012	心理療法特論Ⅰ	講義		2	1・2		前期	桑本佳代子		◎	◎	◎	○	○	○	
	CP5013	心理療法特論Ⅱ	講義		2	1・2		前期	三國牧子		◎	◎	◎	◎	○	○	
	CP5014	心理療法特論Ⅲ	講義		2	1・2		集中	新明一星		◎	◎	◎	◎	○	○	
	CP5015	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	講義		2	1・2		集中	廣川進	公認心理師	◎	◎	◎	◎	◎	—	
	CP5016	心の健康教育に関する理論と実践	講義		2	1・2		前期	開講せず	公認心理師	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
臨床科目	CP5017	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	講義		2	1	前期	三國牧子	公認心理師	◎	○	◎	○	◎	◎		
	CP5018	臨床心理面接特論Ⅱ	講義		2	1	後期	三國牧子		◎	◎	◎	◎	○	○		
	CP5101	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	演習		2	1	前期	黒田浩司 村部妙美	公認心理師	◎	○	◎	—	—	—		
	CP5102	臨床心理査定演習Ⅱ	演習		2	1	後期	黒田浩司 新居みちる		◎	◎	◎	○	○	—		
	CP5301	臨床心理基礎実習	実習		2	1	通年	小林真理子 桑本佳代子	2時間連続 (前期担当) (後期担当)	◎	◎	◎	○	—	—		
	CP6301	臨床心理実習ⅠA (心理実践実習) 教育	A B C 実習		1	2	通年	黒田浩司 三國牧子 小林真理子 桑本佳代子	公認心理師	◎	◎	◎	○	○	—		
	CP6302	臨床心理実習ⅠB (心理実践実習)	実習		1	2	通年	小林真理子 桑本佳代子 小林真理子 三國牧子 新居みちる 加藤 仁 小田友理恵 高澤知子	公認心理師	◎	◎	○	○	○	—		
	CP6303	臨床心理実習ⅠC (心理実践実習) 医療	A B C D 実習		1	2	通年	三國牧子 黒田浩司 新居みちる 小田友理恵	公認心理師	◎	◎	◎	○	○	○		
	CP6304	臨床心理実習ⅠD (心理実践実習) 福祉	A B C D 実習		1	2	通年	小林真理子 桑本佳代子 加藤 仁 加藤 仁	公認心理師	◎	◎	◎	○	○	○		
	CP6305	臨床心理実習Ⅱ	実習		4	2	通年	小林真理子 三國牧子 新居みちる 桑本佳代子 加藤 仁 小田友理恵	2時間連続授業	◎	◎	◎	○	○	○		
	研究科目	CP5019	心理統計法特論	講義		2	1・2	前期	槻館尚武		◎	○	○	◎	—	—	
		CP5020	心理学研究法特論	講義		2	1・2	前期	佐柳信男		◎	○	○	◎	—	—	
		—	修士論文							小林真理子							
										三國牧子							
										黒田浩司		◎	◎	◎	◎	—	—
									佐柳信男								
						槻館尚武											
						新居みちる											
						桑本佳代子											

1. 学 籍

1.1 学籍番号

与えられた学籍番号は、在籍する期間及び修了後も変更することなく使用されます。学籍番号の表示内容は次のとおりです。

例：2026 年度入学の場合

M 2 6 P 0 1	M ⇒ 修士課程 : Master's Program
	26 ⇒ 入学年度の西暦下 2 桁
	P ⇒ 専攻名
	01 ⇒ 個人番号

1.2 修業年限と在学年限

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間のことです。これに対して在学年限とは、本学において学生として在籍できる期間のことです。修士課程の修業年限は 2 年と定められています。

ただし、教育研究上の必要があると認められる場合には修業年限の 2 年を超えることができますが、在学年限は 4 年を超えることはできません。

1.3 休 学

疾病その他やむを得ない事情により修学することができない場合には、休学することができます。休学を希望する場合は、所定の休学願を提出してください。

なお、病気により休学する場合には、医師の診断書の添付が必要です。

- (1) 休学の期間は 1 年以内とします。ただし、特別の理由がある場合は、引き続き延長が認められます。
- (2) 休学期間は、通算して 2 年を超えることはできません。
- (3) 休学期間は、在学期間に算入されません。

1.4 復 学

休学期間中にその理由が消滅した場合には、所定の復学願を提出してください。ただし、病気により休学の許可を受けた場合には、医師の診断書を添付してください。休学期間の満了により復学する場合は、所定の復学届を提出してください。

1.5 退 学

やむを得ない理由により退学しようとする場合は、所定の退学願を提出してください。

1.6 除 籍

次のいずれかに該当する者は、研究科委員会の議を経て、学長が除籍します。

- (1) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 在学期間を超えた者
- (3) 休学期間を超えてなお復学することができない者
- (4) 長期間にわたって行方不明の者

2. 履 修

2.1 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目の内容・レベルに応じて特定のナンバリングコードを付与することによりカリキュラムの体系性を明示するしくみです。コードの意味は次のとおりです。

科目群（2ケタ）／履修年次（1ケタ）／授業形態（1ケタ）／識別番号（2ケタ）

科目群	臨床心理学専攻	CP
履修年次	大学院 M1	5
	大学院 M2	6
授業形態	講義	0
	演習	1
	実技	4

例)「臨床心理学特論Ⅰ」：ナンバリングコード CP5001

CP：臨床心理学専攻科目群 / 5：1年生用 / 0：講義科目 / 01：識別番号

2.2 カリキュラムマップ

キャンパスガイドに詳しく掲載していますが、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）は下記のとおりです。

D1	本大学院修了後にも学ぶべき課題を持ち、学び続ける自発的な向学の姿勢を有する。
D2	個人にも集団にも目を向ける対人姿勢を備え、人間に対する尊敬の念、謙虚さと誠実さをもって人を活かしつつ関わるという対人援助を自らの役割として心得ている。
D3	医療、教育、産業、福祉、司法など、どのような臨床領域においても適切な援助や介入のあり方を判断し、地域の専門機関と連携をしながら、実行する実践力を有する。
D4	心理学の方法や観点に基づいて職場内の課題を調査研究し、解決への提言を出すことができるような知識と方法を有する。
D5	学校や地域や企業などにおいて、予防のために心の健康の重要性を教育する力を有する。
D6	臨床家としてのあり方の背景にキリスト教精神に基づく死生観を持ち、特に「緩和ケア」、「高齢者援助」などの死に直面する課題に対する臨床的関わりの中にそれを活かすことができる。

カリキュラムマップとは授業科目とディプロマポリシーの関係を示した表のことです。ディプロマポリシーに基づき、各科目が卒業までに身につけるべき能力のどの項目との関連するのを示したものです。巻末の開講科目一覧表を確認してください。記号の意味は次のとおりです。

◎：深く関連している

○：関連している

—：上の二つと比較すると関連は弱い

2.3 授業時間

授業時間は月曜日から金曜日まで、以下の時間帯で開講されます。

※1 時限 95 分

時限	時間帯		
	通常	土曜日・集中講義	キリスト教教育週間
1 時限	9:00～10:35	9:00～10:35	9:00～10:25 (平常より 10 分早く終了)
チャペルアワー	10:40～11:00	—	10:30～11:10 (全学チャペル)
2 時限	11:05～12:40	10:45～12:20	11:15～12:40 (平常より 10 分遅く開始)
3 時限	13:30～15:05	13:10～14:45	13:30～15:05
4 時限	15:15～16:50	14:55～16:30	15:15～16:50
5 時限	17:00～18:35	16:40～18:15	17:00～18:35

※授業回数調整のため、一部の日で別の曜日の授業時間割となることがあります。学年暦や掲示板等を確認してください。

※研究指導については特に曜日や時限を定めていないので、指導教員と学生との協議によって時間の取り決めを行ってください。

2.4 成績

2.4.1 成績評価

授業科目の単位認定は、筆記もしくは口述試験または研究報告によって行われます。

この報告を総合的に評価して次のように表示します。

※成績は 100 点満点で、60 点以上が合格となります。

判定	評価 (レターグレード)	素点	評価基準
合格	A	90～100	到達目標を十分に達成しており、きわめて優秀な成果をおさめている
	B	80～89	到達目標を十分に達成している
	C	70～79	到達目標を標準レベルで達成している
	D	60～69	到達目標を最低限達成している
不合格	F	0～59	到達目標を達成できていない

2.4.2 GPA とグレードポイント

GPA (グレートポイントアベレージ) とは、「どのくらい優秀な成績で単位を修得できているか」を数値化したものです。値が大きいほど優秀な成績であることを表します。

GP (グレードポイント) とは「その科目をどのくらい優秀な成績で合格したか」を数値化したものです。GP は素点 score をもとに次の式で算出します。

$$GP = \frac{\text{score} - 50}{10}$$

ただし、不合格（F 判定）の場合はすべて GP=0 とします。

また GPA（グレートポイントアベレージ）とは、履修した科目の GP に単位数をかけた値の合計を総登録単位数で割ったものです。GPA は 5.0～0.0 の間で算出されます。値が大きいほど優秀な成績であることを表します

$$GPA = \frac{(\text{GP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{総登録単位数}}$$

F 判定の科目は GP=0 となり、GPA の計算にも使われます。同じ科目を翌年度履修して合格しても、F 判定の履歴は残り、新たな成績とともに GPA の計算に使われます。したがって履修した科目は不合格にならないよう、計画的な履修をするとともに、日々の学修をおこたらないようにして下さい。

2.4.3 成績発表

各科目の成績発表は、期末ごとにキャンパスプランで確認できるほか、保護者あてに郵送（前期末・後期末）します。評価はレターグレードおよび素点で開示します。一度合格した科目は、いかなる理由があっても再度履修することはできません。なお、成績証明書には合格した科目とその評価及び累計 GPA を記載します。

2.4.4 成績評価についての異議申し立て

自己評価と成績評価との間に大きな開きがあり、明らかに評価の誤りであると思われるものについて、異議を申し立てることができます。ただし、以下の条件をすべて満たしている場合に限り、申請する場合は所定の様式を指定された期間内に教務部へ提出してください。なお、申請時に内容についての聞き取りを行います（聞き取りの内容によっては申し立てを受理しないことがあります）。

- (1) 履修登録をしていること
- (2) 授業の欠席回数が、全体の 3 分の 1 未満であること
- (3) 授業中に課せられたレポートや小テスト等をすべて提出していること
- (4) 授業内試験を受験していること

2.5 大学院人間文化研究科の履修

2.5.1 修了要件

修士課程の修了要件について、大学院学則により次のとおり定めています。

学 則

第 15 条 修士課程の修了要件は、大学院に 2 年以上在学し、40 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

2.5.2 学 位

修士の学位取得について大学院学則により次のとおり定めています。

学 則

第18条 修士課程修了を認定した者に対し、研究科委員会の意見を聴き、次の学位を授与する。

修士（臨床心理学）

2.5.3 教育方法

本大学院の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等の指導によって行います。

2.5.4 単位の認定

授業科目の単位の認定は、筆記もしくは口述試験または研究報告によって行います。

1単位の授業科目は45時間の学修をもって構成されます。

2.6 登 録

2.6.1 履修登録

- (1) 指定された日時までに履修する科目の登録を行ってください。登録をしていない授業科目は受講することができません。また、所定の期限内に履修手続を行わない場合には、その学期の履修は放棄したものとみなします。
- (2) 同一時限に配置されている授業科目を重複して登録することはできません。
- (3) 履修登録はキャンパスプランとよばれる Web システムを使って行います。キャンパスプランによる履修登録の方法についてはWeb履修マニュアルを参照してください。
- (4) 履修登録期間中には登録科目の変更が可能ですが、履修登録締め切り後は科目の変更、取り消しなどは一切できません。
- (5) 学部の授業科目の履修を希望する場合には、必ず指導教員と面談し、認定を受けたうえ大学院の授業科目と重複しないよう注意し、手続を行ってください。ただし、原則として大学院生の学部授業の履修は認めません。
- (6) 一度合格の評価を受けた授業科目は、再度履修することはできません。

2.6.2 学部科目の履修

指導教員が必要と認めるときには、本学学部の授業科目を履修することができます。ただし、大学院修了に必要な単位として算入することはできません。また、履修する際には上2.6.1(5)により、さらに該当授業科目の担当教員の許可が必要です。

3. 臨床心理士並びに公認心理師受験資格取得

3.1 臨床心理士とは

「臨床心理士」とは、臨床心理学の知識や技術を用いて心理的な問題を取り扱う「心の専門家」です。日本では、このような心の問題に取り組む専門家は、「カウンセラー」「サイコセラピスト」「心理相談員」などの名称で専門的な活動を行ってきました。しかし、このような専門家に対する資格制度の整備が遅れていました。そこで、心の問題に取り組む専門家の資格認定を行うために、心理臨床に関連のある16の学術団体(学会)の総意に基づいて、1988年(昭和63年)に「日本臨床心理士資格認定協会」が設立され、「臨床心理士」の資格認定が開始されました。

さらに、この協会は、2年後(1990年)には、文部科学省から公益法人格をもつ財団法人として認められ、2025年4月の時点で43,083名の方々を認定し、文部科学省の実施するスクールカウンセラーの任用をはじめさまざまな領域で活躍しています。

3.2 臨床心理士の受験資格

現在、臨床心理士の受験資格は日本臨床心理士資格認定協会によって以下のように規定されています。

(イ)	本協会が認可する第1種指定大学院(修了後の心理臨床経験不要)を修了し、受験資格のための所定条件を充足している者…「新1種指定校」という。
(ロ)	本協会が認可する第1種指定大学院を修了し、修了後1年以上の心理臨床経験を含む受験資格取得のための所定条件を充足している者…「旧1種指定校」という。
(ハ)	本協会が認可する第2種指定大学院を修了し、修了後1年以上の心理臨床経験を含む受験資格取得のための所定条件を充足している者…「新2種指定校」という。
(ニ)	本協会が認可する第2種指定大学院を修了し、修了後2年以上の心理臨床経験を含む受験資格取得のための所定条件を充足している者…「旧2種指定校」という。
(ホ)	学校教育法に基づく大学院において、臨床心理学又はそれに準ずる心理臨床に関する分野を専攻する専門職学位課程を修了した者…「専門職大学院」という。
(ヘ)	諸外国で上記(イ)又は(ハ)のいずれかと同等以上の教育歴及び日本国内における2年以上の心理臨床経験を有する者。
(ト)	医師免許取得者で、取得後2年以上の心理臨床経験を有する者。

※本学は、日本臨床心理士資格認定協会から「新1種指定校」の認定を受けており、原則として(イ)での受験資格を目指すこととなります。協会の規定では所定の単位を取得し修士論文を提出して大学院修了となることで受験資格が得られます。

3.3 受験資格を得るための科目

臨床心理士受験資格を取得するためには、学則第15条の規定により修士課程の修了が認められ、さらに下記に定める臨床心理士受験資格課程の必修科目から5科目16単位、選択必修科目群（A、B、C、D、E）からそれぞれ2単位以上、計10単位以上、合計26単位を修得する必要があります。

なお、「修士論文」は臨床心理士受験資格課程の単位としてはカウントされませんが、修了には必須であり、テーマは臨床心理学に関するものでなければなりません。

臨床心理士受験資格課程科目	(財) 日本臨床心理士資格認定協会 第1種指定授業科目			山梨英和大学大学院人間文化研究科 臨床心理学専攻開設授業科目			
	科目群	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
					必修	選択	
必修	臨床心理学特論	臨床心理学特論	4	臨床心理学特論Ⅰ	2		
				臨床心理学特論Ⅱ	2		
	臨床心理面接特論	臨床心理面接特論	4	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2		
				臨床心理面接特論Ⅱ	2		
	臨床心理査定演習	臨床心理査定演習	4	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		
				臨床心理査定演習Ⅱ	2		
	臨床心理基礎実習	臨床心理基礎実習	2	臨床心理基礎実習	2		
	臨床心理実習	臨床心理実習	2	臨床心理実習ⅠA（心理実践実習）	1		
				臨床心理実習ⅠB（心理実践実習）	1		
				臨床心理実習ⅠC（心理実践実習）	1		
				臨床心理実習ⅠD（心理実践実習）	1		
				臨床心理実習Ⅱ	4		
	A	心理統計法特論	以上	2単位	心理統計法特論		2
		心理学研究法特論		2	心理学研究法特論		2
	B	人格心理学特論	以上	2単位	人格心理学特論		2
発達心理学特論		2		発達臨床心理学特論		2	
C	家族心理学特論	2単位以上		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2		
	犯罪心理学特論			犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2		
D	障害者（児）心理学特論	2単位以上		障害者（児）臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2		
	精神医学特論			精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2		
E	投映法特論	2単位以上		投映法特論		2	
	心理療法特論			心理療法特論Ⅰ		2	
				心理療法特論Ⅱ		2	
				心理療法特論Ⅲ		2	

3.4 公認心理師とは

「公認心理師」とは、公認心理師法第2条により、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって「心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析する」「心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う」「心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う」「心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行う」ことを業とするものと定義されています。

公認心理師法については、心理職の国家資格を求める動きは1950年代からあり、具体的な法案をめぐる動きは2005（平成17）年から始まり、その後、関係する学会、団体や個人の協力があり、2015（平成27）年9月9日に交付され、同月15日に施行されました。公認心理師法第1条で、公認心理師の業務の目的は、「国民の心の健康の保持増進に寄与すること」とされており、今後、多領域での心理に関する支援の仕事が広がってくることが予想されます。

3.5 公認心理師の受験資格

現在、公認心理師の受験資格は公認心理師法第7条、附則第2条によって規定されていますが、ここでは、学部教育を終えた上で大学院教育を修了した場合についてのみ説明します。

(イ)	学校教育法（昭和22年）に基づく大学（短期大学を除く。以下に同じ。）において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて卒業し、かつ、同法に基づく大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて、その課程を修了したもの
(ロ)	公認心理師法施行日前（平成29年9月15日以前）に学校教育法（昭和22年）に基づく大学に入学し、かつ、心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて卒業した者であって、施行日以後に同法に基づく大学院において第7条第1号の文部科学省令・厚生労働省令で定める科目を修めてその課程を修了したもの
(ハ)	公認心理師法施行日前（平成29年9月15日以前）に学校教育法（昭和22年）に基づく大学院に入学した者であって、施行日以後に心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて当該大学院の課程を修了したもの

受験資格（ハ）は、2017年度以前に大学院に入学した学生が対象となります。

3.6 受験資格を得るための科目

公認心理師受験資格を取得するためには、学則第15条の規定により修士課程の修了が認められ、さらに公認心理師法第7条第1号の大学院における公認心理師となるために必要な科目として文部科学省・厚生労働省で定める10科目を修得することが必要です。

公認心理師受験資格に必要な科目一覧（大学院）

※2018年4月以降入学生対象

省令に定める科目	本学開講科目	単位数 (必修)	履修年次
1. 保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2	1・2
2. 福祉分野に関する理論と支援の展開	障害者（児）臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	1・2
3. 教育分野に関する理論と支援の展開	教育分野に関する理論と支援の展開	2	1・2
4. 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	1・2
5. 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	1・2
6. 心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	1
7. 心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2	1
8. 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	1・2
9. 心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育に関する理論と実践	2	1・2
10. 心理実践実習（450時間以上）	臨床心理実習ⅠA（心理実践実習）	1	2
	臨床心理実習ⅠB（心理実践実習）	1	2
	臨床心理実習ⅠC（心理実践実習）	1	2
	臨床心理実習ⅠD（心理実践実習）	1	2

4 実 習

実習は、「臨床心理基礎実習」「臨床心理実習ⅠA～Dおよび「臨床心理実習Ⅱ」の6科目で構成されています。

4.1 「臨床心理基礎実習」について

「臨床心理実習ⅠA～D」および「臨床心理実習Ⅱ」への準備・事前学習を目的とした、1年次の履修科目です。一部講義形式を用いていますが、体験学習が中心となります。心理臨床家としての基本的な倫理、記録の書き方、カウンセリングスキルの実習等、実践に必要な基礎を学修します。また、本学付属の心理臨床センターにおける陪席、観察なども行います。

時間数の配分の目安は以下のとおりです。

- (1) 臨床援助活動の原則
- (2) 臨床心理面接の実際
- (3) 実習機関における臨床心理学的援助
- (4) 心理臨床センターにおける事務・陪席実習
- (5) 電話相談実習

4.2 「臨床心理実習ⅠA～D（心理実践実習）」について

2年次履修の科目です。学内の心理臨床センターにおいて、実際のケースを担当します。スーパービジョンを受けながら、アセスメント、見立て、面接のすすめ方の実際を学修します。また実習先の指導担当者、大学院教員の指導を受けながら複数の学外機関（医療領域・教育領域・福祉領域）での実習を行います。学外実習では、次の4点について実践を通して学びます。①心理に関する支援を要する者等に関する次の知識及び技能の習得：コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援）、②心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、③心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、④他職種連携及び地域連携、⑤公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解。

4.2.1 「臨床心理実習ⅠA～D（心理実践実習）」の受講資格

- ① 次の科目を履修済みであること
 - (a) 臨床心理学特論Ⅰ
 - (b) 臨床心理学特論Ⅱ
 - (c) 臨床心理面接特論Ⅰ
 - (d) 臨床心理面接特論Ⅱ
 - (e) 臨床心理査定演習Ⅰ
 - (f) 臨床心理査定演習Ⅱ
 - (g) 臨床心理基礎実習
- ② 修了要件単位数の2分の1以上を修得済みであること
- ③ 大学院修了の見込みがあると判断された学生であること
- ④ 臨床家として就職する意志の強固な学生であること

4.2.2 実習内容

- (1) 事前指導
担当教員が実習全般およびそれぞれの機関の実習についてのオリエンテーションを行

います。(6時間)

(2) 学外での実習

受講者各人が主要3領域での支援機関にて実習を受けます。

医療領域実習：80時間以上

学校領域実習：40時間以上

福祉領域実習：40時間以上

指導は、実習先の担当者、本学担当教員が行います。本学担当教員は適宜、実習先を訪問し指導を行います。

(3) 学内での実習

山梨英和大学心理臨床センターにおいて、実際のケースを担当し、心理臨床の実際について学びます。スーパービジョンを受けることを義務とします。

①電話受付実習

②電話相談実習

③事例担当 3事例程度

(担当事例には、心理検査事例を含む)

④個人スーパービジョン

(スーパーバイザーは「臨床心理実習」担当教員以外も担当する場合もある。)

⑤電話相談グループスーパービジョン

(4) 学外実習グループ指導・

担当教員は、学外実習に関する個人、またはグループスーパービジョンを行います。また、各自の気づき、自分自身の反応の仕方の特徴、短期的な自分の目標、などをテーマに個人、またはグループでの指導を行います。

(5) 実習報告会

実習体験に関する報告会を実施し、報告書を作成する。

4.3 「臨床心理実習Ⅱ」について

2年次履修の科目です。学内の心理臨床センターにおいて担当する事例について、ケースカンファレンスを行います。グループでの事例検討を通して、自らが考えていた事例のアセスメント、見立て、面接のすすめ方について振り返り、より学びを深めていきます。また、心理臨床センターで受理したケースについて事例検討を行い、今後の支援の方針や担当者の決定を行います。

なお、「臨床心理実習Ⅱ」には、1年次より陪席を開始します。

付記：「臨床心理基礎実習」、「臨床心理実習ⅠA～D（心理実践実習）」ともに上記の時間は目安であり、実習時間数は上記以上を行う場合があります。詳しい実習のスケジュールや留意事項は、別途配布する「実習の手引き」を参照してください。

5 修了

5.1 修了に必要な単位数

人間文化研究科 臨床心理学専攻（修士課程）

修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、40単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

区分	授業科目名	単位数			履修年次	備考
		必修	選択	自由		
基幹科目	臨床心理学特論Ⅰ	2			1	
	臨床心理学特論Ⅱ	2			1	
	人格心理学特論		2		1・2	
	発達臨床心理学特論		2		1・2	
	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2			1・2	
	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2			1・2	
	障害者（児）臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2			1・2	
	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2			1・2	
	投映法特論		2		1・2	
	生と死の臨床特論		2		1・2	
	教育分野に関する理論と支援の展開	2			1・2	
	心理療法特論Ⅰ		2		1・2	
	心理療法特論Ⅱ		2		1・2	
	心理療法特論Ⅲ		2		1・2	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2			1・2	
	心の健康教育に関する理論と実践	2			1・2	
臨床科目	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2			1	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2			1	
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2			1	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2			2	
	臨床心理基礎実習	2			1	
	臨床心理実習ⅠA（心理実践実習）	1			2	
	臨床心理実習ⅠB（心理実践実習）	1			2	
	臨床心理実習ⅠC（心理実践実習）	1			2	
	臨床心理実習ⅠD（心理実践実習）	1			2	
	臨床心理実習Ⅱ	4			2	
研究科目	心理統計法特論		2		1・2	
	心理学研究法特論		2		1・2	
	修士論文				2	

5.2 修士論文について

5.2.1 修士論文提出の要件

- (1) 修士論文題目届を提出します。
- (2) 修士課程に1年以上在学し、16単位以上修得しており、2年次で修了の見込みのものが修士の学位論文（修士論文）を提出することができます。
- (3) 学則第15条により、2年次で修了の見込みの者であること。
- (4) 修士論文は、指導教員を通じて、研究科長に提出します。
- (5) 修士論文は、1編1部とします。参考として他の論文を添付することができます。審査のために必要があれば、関係資料を提出させることがあります。
- (6) 論文の様式については「5.2.5 論文及び論文要旨の様式」を、執筆に関する詳細については「5.3 修士論文執筆要綱」を参照してください。

5.2.2 修士論文題目届けの提出

修士論文を提出しようとする場合、2年次の前期に指導教員の下で研究計画を確定し、所定の期日までに論文題目を研究科委員会に提出します。

- (1) 提出期限：学年暦参照
- (2) 提出場所：教務部

5.2.3 修士論文のテーマ

修士論文のテーマは以下のいずれかとします。

- (1) 学内、学外での実習で関わりをもったケースに基づく事例研究
- (2) 特定のテーマに関する過去の学術論文をまとめる、概念や理論を整理・発展させるなどの文献研究
- (3) 調査等によって収集したデータに基づき論証する実証研究

5.2.4 論文の提出

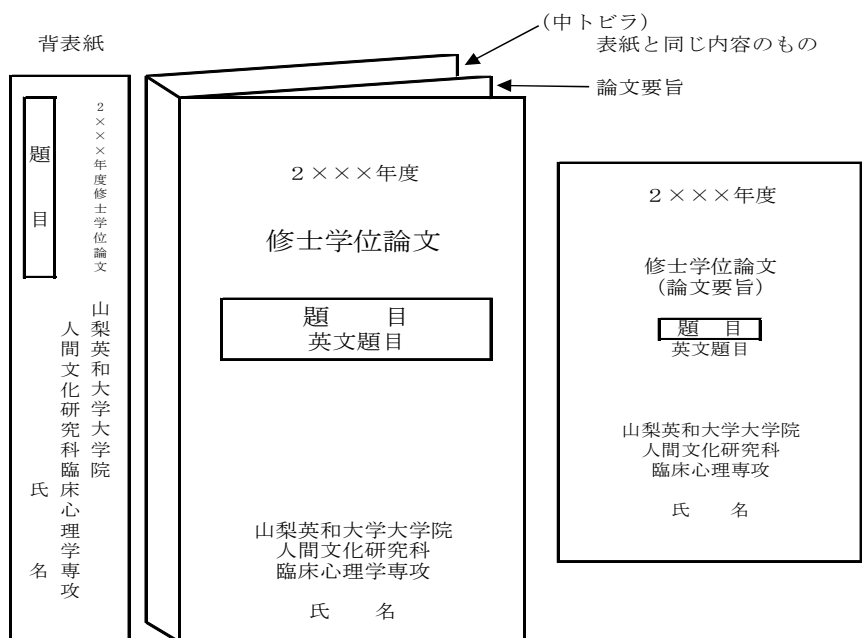
- (1) 論文提出期限：学年暦参照
※期限後の提出はいかなる理由があっても受け付けません
- (2) 提出場所：教務部
- (3) 提出物
 - ①論文 3部
 - ②論文要旨 3部

5.2.5 論文及び論文要旨の様式

- (1) 論文
 - ①書式 A4判 横書き
 - ②文字数 40,000字程度（図表込み）
 - ③装幀 A4 指定2穴ファイル

(2) 論文要旨

- ①書式 論文に準ずる。
- ②枚数 4,000字程度
- ③表紙 「論文要旨」と表記する。



5.2.6 履修指導と研究指導のスケジュール

1年次	4月	・大学院修士課程入学試験出願時提出の研究計画に基づいて、担当教員を決定 ・履修ガイダンス、実習等のオリエンテーション
	10月	・修士論文仮題目の提出
2年次	4月	・履修ガイダンス、実習等のオリエンテーション
	5月	・修士論文中間報告会
	11月	・修士論文題目の提出
	1月	・修士論文の提出
	2月	・口頭試問
	3月	・修了認定

5.2.7 修士論文の審査

1) 審査体制

修士論文の審査に当たっては、大学院教員の中から主査、副査をそれぞれ1名ずつ決定し、提出された論文を査読します。その後の口頭試問における質疑応答を経て、全教員の参加する修士論文審査会において総合的に審査し、修了認定の可否を決定します。

2) 審査基準

A 下記3点を審査基準とし、評価を行います。

- (1) 修士論文が学術論文として適切であること。
- (2) 口頭試問において論文の内容を明瞭にし、質疑に対して適切な回答が出来ること。
- (3) 論文作成に向けた自発的な研究活動を行い、その過程で資料収集に際して求められる臨床的コミュニケーション能力の修得をめざしていること。

B 修士論文審査・口頭試問実施の観点

(1) 修士論文審査の観点

- ① 先行研究の整理と問題設定は適切になされているか。
- ② 章立てを含めた論述の流れは適切であるか。
- ③ 研究方法の選択・実行は適切になされているか。
- ④ 注や図表処理も含めて、論述が的確でかつ分量的にも適切であるか。
- ⑤ 設定された問題と方法、考察のつながりが適切であるか。
- ⑥ 臨床心理学の観点に立った考察があるか。

(2) 口頭試問実施の観点

- ① 提出された修士論文の研究成果について。
- ② 研究手続きや遂行、結果の分析、考察について。
- ③ 今後の研究可能性について。
- ④ プレゼンテーション（発表態度・スライドなど）について

5.2.8 紀要への掲載

合格した論文は、何らかの形式（論文または要旨）で心理臨床センター紀要に掲載しなければなりません。論文を掲載する際には、教員2名の査読を経ることを条件とします。なお、紀要掲載にあたっては、特に倫理上の配慮を行うこととします。

5.2.9 修士論文の執筆に関する細則と諸注意

修士論文執筆に関する具体的な仕方や諸注意については、次頁からの「修士論文執筆要綱」にくわしい記述があるので、執筆にあたり熟読してください。

5.3 山梨英和大学大学院臨床心理学専攻修士論文執筆要綱

<論文の内容と文字数>

1. 論文の内容は未刊行のものに限る。
2. 論文の内容は以下のいずれかとし、臨床心理学に関するものとする。
 - a) 学内、学外での実習で関わりを持ったケースに基づく事例研究。
 - b) 特定のテーマに関する過去の学術論文をまとめる、概念や理論を整理・発展させるなどの文献研究。
 - c) 調査等によって収集したデータに基づき論証する実証研究。
3. 文字数は、40,000字程度とする。尚、図表類は、その大きさを本文に換算して、字数に参入すること。

<論文の構成>

4. 論文の構成は、原則として以下のようにすること。
 - a) 問題と目的：研究の意義、研究の目的を簡潔に記載し、先行研究を記載する。
 - b) 方法：研究の対象、研究の方法について記載する。
 - c) 結果：ローデータを加工処理したものを提示し、主観や解釈を交えることなくデータに即した事実を記載する。
 - d) 考察：今回得られた結果と先行研究との知見を比較検討し、著者の見解（結果の解釈）を述べる。
 - e) 文献：本文中で引用した文献をすべて掲載する。

注) 上記 c), d) は必ずしも別々でなくてもよい。

<原稿作成に関する一般的注意>

5. 原稿はA4用紙を用い、1ページあたり40字×30行(1,200字)とする。
6. 原稿は、ワープロ(パソコン)を用いて作成することが望ましい。尚、その際の文字のフォントは明朝体、サイズは10.5ポイントとする。
7. 原稿は横書きで、原則として常用漢字・新かなづかいを用い、数字は算用数字を用いること。
8. 読点は「、」、句点は「。」とする。
9. Th, Cl, SCなどの略語は、原則として使用しないこと。ただし、記述が煩雑になることを避けるために用いる場合等には、初出の際にその略語の意味を明示した上で、使用すること。

(略語使用例)

スクールカウンセラー(以下、SCと略記)

<プライバシーへの配慮>

10. クライアントに関する情報を記載する必要がある場合には、記載する情報は最小限度とし、プライバシーに充分配慮すること。
 - a) イニシャルの付け方にも注意すること。例えば、「佐藤」という人名の論文中でのイニシャルを「S」とするのは望ましくない。地名や施設名についても同様に配慮すること。
 - b) 面接経過における年号の記載は、X年、X+1年のようにすること。

<論文中で用いる用語>

11. 論文中で用いる用語については、以下のような点について熟考し、使用すること。
 - a) 「診断」「治療」「治療者」「患者」「症例」などの医学用語は可能な限り使用を避け、「アセスメント」「セラピー」「援助」「セラピスト」「面接者」「クライアント」「事例」などの心理臨床学用語を用いることが望ましい。ただし、医療機関における処遇を記載する必要がある場合や、文献の引用部分をこうした用語が用いられている場合、あるいはそうした表現を特

に用いる必要がある場合については、この限りではない。

b) 「精神分裂病」という表現は用いることを避け、「統合失調症」に統一する。

<外国語の表記>

12. 外国の人名、地名等の固有名詞は、原則として原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。

(人名・地名例)

Freud, S. / Sullivan, H. S. / New York / London

(外国語例)

コミットメント (commitment) / 行動化 (acting out) / 抱えること (holding)

<図表>

13. 図や表は、図 1, 表 1 など順序をつけ、それぞれに題と内容を原則として和文で記載すること。

<引用>

13. 本文中に文献を引用した場合は、引用した箇所を“ ” でくり明しすると同時に、著者名と公刊年を記載すること。

a) 本文中に、著者名を記載する場合

山本 (1995) は、“〇〇〇” を述べている。

b) 引用の終わりに、著者を示す場合

“〇〇〇” (山本, 1995)

c) 訳本の場合には、原典の発行年と訳本の発行年を、“/” で併記する。

d) 著者が複数いる場合には、初出時は著者全員の名字を掲載する (ただし、共著者が 6 名以上の場合は初出でも省略してよい。) 2 度目の引用以降は筆頭者のみを挙げ、和文献であれば“ら”, 洋文献であれば“et al.” を用いて省略してもよい。ただし、著者が 2 名の場合は必ず 2 名とも省略せずに記述する。

(和文献の省略記述の例)

本文中の記載：一丸ら (2001) 引用末記載：(一丸ら, 2001)

(洋文献の省略記述の例)

本文中の記載：Shore et al. (1986) 引用末記載 (Shore et al., 1986)

<文献>

15. 文献は、本文の終わりに引用文献を著者の姓を規準にしてアルファベット順に一括して記載すること。

a) 雑誌の場合：著者名、公刊年 (西暦)、論題、誌名、巻 (太字)、号、記載頁の順序による。ただし、通巻頁数の記載がない場合は、巻数に続けて号数を () で括り記載すること。巻数がない雑誌の場合は、通しの号数を、「号」または「No.」を付けて記載すること。なお、雑誌名の記載に際しては、和・欧いずれの場合でも、「心研」*[J. Clin. Psychol.]* といったような略記をしてはならない。

(洋雑誌例)

Shore, J. H., Tatum, E. L., & Villmer, W. M. (1986). Psychiatric reactions to disaster: The Mount St. Helens experience. *American Journal of Psychiatry*, **143**, 590-596.

(和雑誌例)

一丸藤太郎・倉永恭子・森田裕司・鈴木健一 (2001). 通り魔殺人事件が児童に及ぼした影響——継続実施した S-HTP から. *心理臨床学研究*, **19**(4), 329-341.

- b) 単行本の場合：著者名，発行年度（西暦），書名，発行所，引用の場合引用頁の順序とする。ただし編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は，該当執筆者を筆頭にあげ，以下，発行年度，論題，編者名，書名，発行所，頁の順とする。

(洋書例)

Fiscalini, J. (1995). Narcissism and self-disorder. In Lionells, M., Fiscalini, J., Mann, C. H., Stern, D. B. (Eds.). *Handbook of interpersonal psychoanalysis*. New York: Analytic Press, pp. 333-374.

(和書例)

山本 力 (2001). 研究法としての事例研究. 山本 力・鶴田和美 (編著) 心理臨床家のための「事例研究」の進め方. 北大路書房, pp. 14-29.

(訳本例)

Sullivan, H. S. (1953). *The interpersonal theory of psychiatry*. New York: W. W. Norton.
中井久夫・宮崎隆吉・高木敬三・鑪 幹八郎 (訳) (1990). 精神医学は対人関係論である. みすず書房.

- c) 著者名を規準にした一括掲載の場合，同一著者で2種以上の文献がある場合は発刊年度順とし，さらに同年度に同一人の2種以上の文献がある場合には1980a, 1980bのように区別して記載すること。

<謝辞>

16. 謝辞等を記載する場合は，本文の最後に記載すること。

<フェイスシート>

17. いずれの論文にあっても，表題（英文併記），氏名，学籍番号をA4用紙に記載すること。

<要約>

18. 上記のほかに4,000字程度の要約と，3～5つのキー・ワードを添えて提出すること。これらの書式は論文に準ずる。
19. 要約では研究の目的，方法，結果，考察を簡潔に述べ，論文の大まかな内容が伝わるようにする。

<特別な費用が必要な場合>

20. 論文の提出に際して，印刷上特別の費用を要する事情が生じた場合は，当該執筆者が負担するものとする。

付記：本執筆要綱は、『心理臨床学研究』の執筆要項を参考に，基本的にそれに依拠する形で作成されている。

6. 学生生活上の諸注意

6.1 通知連絡

(1) 掲示板

学生への通達、連絡、呼び出し等は、特別な場合を除き、原則として掲示板に掲示します。掲示板は講義棟入口にあり、関係窓口からの諸連絡事項が掲示されます。必ず掲示板を見る習慣をつけてください。

なお、掲示の内容について質問や疑問がある場合には直接窓口で確認してください。個人情報保護の観点や間違いが生じやすいため、電話による問い合わせには応じることができません。必ず窓口に来てください。

(2) 学生ポータルサイト

学内の掲示情報の一部をインターネット上で閲覧できるシステムを提供します。緊急時にメール配信をすることもありますので、必ず利用登録をしてください。利用するためにはログイン名とパスワードの発行を受けることが必要となります。詳しくはオリエンテーション時もしくは教務部・学生部窓口まで問い合わせてください。

※掲示板やポータルサイトの見落としにより受けた不利益はみなさんの責任となりますのでこまめにチェックしてください。

6.2 休講・補講

担当教員の公務、出張、病欠などにより授業が休講となることがあります。休講情報についてはポータルサイトや掲示板で確認してください。

休講となった授業科目は原則として、補講（振替授業）を行います。補講の実施日時、場所についてはポータルサイトや掲示板で確認してください。

交通機関がストライキ、自然災害により運休した場合または甲府市に特別警報が発表された場合は、本学の授業等を次の各号に掲げる基準により、ポータルサイト、大学ホームページ等に告知し、休講とします。

(1) JR（中央本線新宿－小淵沢間、身延線甲府－十島間）、私鉄（富士急行線大月－富士山間）、山梨交通県内路線バス及び富士急行県内路線バスともに運休となった場合又は甲府市に特別警報が発表された場合は、終日休講とする。

(2) 前項に規定する運休又は警報が解除されたときは、次のとおり授業を開始する。

① 特別警報が発表された場合

午前7時までにいずれか一つの交通機関の運休が解除され、かつ、特別警報が解除されたときは、1時限を休講とし2時限から開始し、午前11時までにされたときは、1時限及び2時限を休講とし、3時限から開始する。

② 特別警報が発表されない場合

午前7時までにいずれか一つの交通機関の運休が解除されたときは、1時限を休講とし、2時限から開始し、午前11時までにされたときは、1時限及び2時限を休講とし、3時限から開始する。

(3) JR（中央本線新宿－小淵沢間、身延線甲府－十島間）、私鉄（富士急行線大月－富士山間）、山梨交通県内路線バス又は富士急行県内路線バスのいずれか一つが午前7時現在で運休となっている場合は、1時限を休講とし、2時限から開始する。

(4) 学長は講義中等に前各号に規定する交通又は気象の状況となったとき又は見込まれるときは、直ちに講義等を中止又は休講とし、退校・帰宅を命ずることができるものとする。

6.3 事務取扱時間

月曜日～金曜日 8:45～16:30

※休業期間等については、その都度、ポータルサイトや掲示にて通知します。

6.4 学生証

- (1) 山梨英和大学大学院の学生であることを証明するもので、提示を求められたときには、いつでも提示できるよう常に携帯してください。
- (2) 修了、退学、除籍等学生の身分を離れた時には、すみやかに返却してください。
- (3) 紛失、破損した時には学生部に届け出て、再発行の手続きを行ってください。

6.5 各種証明書

- (1) 証明書の発行については、次を参照して証明書発行願（所定用紙）に必要事項を記入し、取扱窓口にて申し込んでください。即日発行はしていないので余裕をもって申し込んでください。
- (2) 休業期間中の発行は異なることがあるので、取扱窓口にお問い合わせください。
- (3) 間違いを防ぐため、電話による申し込みは受け付けていません。直接窓口で申し込んでください。
- (4) 郵送による申し込みができますので、取扱窓口にお問い合わせください。

種類	取扱窓口	発行手数料	発行日
成績証明書	教務部	300 円 (英文 600 円)	2 日後 ※英文作成の場合は 1 週間後
修了見込証明書	教務部		
修了証明書	教務部		
在学証明書	学生部		
健康診断証明書	学生部	300 円	2 日後
臨床心理士受験申請資格証明書	教務部	300 円	申込受付期間等は別途設定
公認心理師試験 修了証明書・科目履修証明書	教務部		

※証明書の申し込みを行う際は学生証を提示してください。

6.6 各種届出

変更など次の事項が生じた場合は、所定の用紙により届け出てください。

種類	届出先	備考
【氏名・本籍・保証人・住所を変更したとき】		
各種変更届	学生部	学生証もしくは保証人連署を持参
【休学するとき（休学中の者が復学するとき）】		
休学願	教務部	保証人連署
復学願		保証人連署
※休学期間満了に伴う復学については、復学届を提出		
【退学するとき】		
退学願	教務部	保証人連署・学生証返却

6.7 奨学金制度

本学 Web サイトに掲載の「山梨英和大学大学院奨学金規程」を参照してください。

6.8 図書館の利用

本学図書館は、学術研究及び教育に必要な図書、学術雑誌その他必要な資料の収集、整理、保管、および提供を通じ、学術情報受発信の場として機能することにより山梨英和大学の教育研究および学修を支援するとともに、地域社会へ知的情報を提供することを目的としています。

6.8.1 利用時間

平日：午前 9 時～午後 8 時、土曜日：午前 9 時～午後 5 時

ただし、夏季、春季休業期間中は変更になります。

※一部、制限をかけています。詳しくは Web サイトをご覧ください。

6.8.2 休館日

- ・ 日曜日
- ・ 国民の祝日および振替休日（授業等を行う日を除く）
- ・ クリスマス休業日（12 月 25 日）
- ・ 年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
- ・ 夏季休業期間ならびに学年末定期試験終了日翌日から当該年度末までの期間の土曜日、その他、学年暦に応じて変更することがあります。

開館スケジュールは、本学 Web サイトから確認することができます。

HP>大学について>キャンパス・施設>附属図書館>蔵書検索(Web-OPAC)>開館カレンダー

6.8.3 利用資格

本学の学部生、大学院生、科目等履修生、研究生・委託生、特別研修生が利用できます。

6.8.4 貸出手続

図書の貸し出しを受けるには「学生証」を図書とともにカウンターに提示してください。

6.8.5 館内閲覧

館内の図書、雑誌などの資料は開架式で、自由に閲覧できます。利用の終わった図書は、返本台に戻してください。閉架書庫（普段自由に閲覧できない書庫）にある資料を閲覧する場合は、カウンターに申し出て閲覧してください。ただし、図書の保存状態によっては閲覧ができない場合もあります。

6.8.6 館外閲覧

(1) 貸出冊数と期間：

利用者区分	一般学術図書
大学院生	15冊・1か月
学部生	10冊・3週間

特別研修生	5冊・3週間
科目等履修生	5冊・2週間
研究生・委託生	5冊・3週間

(2) 貸出期間の延長

7日間の貸出延長手続きを行うことができます。

(3) 予約・保管

貸出中の図書を3冊まで予約することができます。

6.8.7 返却

(1) 返却

借りている図書は返却日までにカウンターに返却してください。返却日までに返却できない場合は、必ず図書館に連絡してください。

(図書館 TEL (055) 223-6030 MAIL library@yamanashi-eiwa.ac.jp)

図書館が閉館の時に返却する場合は、図書館入り口の返却ポストに入れてください。午前9時までに投函すれば前日の返却となります。

(2) 延滞したとき

返却日に遅れると延滞した日数と同じ日数が貸出停止となります。延滞期間中は新たに図書を借りたり、借りている図書を延長することはできません

(3) 紛失・汚損

図書を紛失または破損した場合は、カウンターへ届け出てください。原則として、現物弁済とし、不可能な場合は時価弁償していただくこともあります。

6.8.8 資料の利用方法

(1) 資料の探し方

図書館内の資料・・・WebOPAC（蔵書検索）で検索することができます。

図書館外の資料・・・図書館 Web サイト「データベース／リンク集」から検索できます。

(2) レファレンスサービス

図書館の利用方法がわからない時や、調査研究・論文作成のために必要な図書が探し出せない時など、みなさんの手助けをするサービスです。気軽に司書に問い合わせてください。

(3) 文献複写

図書館の資料は、調査研究のために部分的に館内で複写することができます。本学図書館に所蔵のない文献については他大学図書館に複写を依頼し、入手することができます。図書館ウェブサイトの「マイライブラリ」から入力できるほか、図書館カウンターにて「文献複写・資料借用申込書」に記入して申し込むことも可能です。なお、複写・郵送に係る費用は利用者負担となります。

6.8.9 相互利用

学内に所蔵しない資料や他大学図書館を利用したい時は、次の方法があります。

(1) 資料借用

借用した図書は館内で閲覧してください。なお、郵送にかかる費用は利用者の負担とします。その他不明な点はカウンターにて問い合わせてください。

(2) 訪問利用

他の大学図書館の利用を希望する場合は、図書館宛に紹介状を発行します。カウンターにて問い合わせてください。

2026年度 時間割

人間文化研究科

	月 曜 日				火 曜 日				水 曜 日				木 曜 日				金 曜 日			
	期間	授業科目名	担当者	教室	期間	授業科目名	担当者	教室	期間	授業科目名	担当者	教室	期間	授業科目名	担当者	教室	期間	授業科目名	担当者	教室
1 時 限									前期	障害者(児)臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	小林(真)	院演習室					前期	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	三國	院演習室
																	後期	臨床心理面接特論Ⅱ(心理支援に関する理論と実践)	三國	院演習室
2 時 限	通年	臨床心理実習ⅠAA(心理実践実習)	黒田		前期	臨床心理学特論Ⅰ	新居	院演習室	前期	心理療法特論Ⅰ	桑本	院演習室	前期	心理療法特論Ⅱ	三國	院演習室				
	通年	臨床心理実習ⅠAB(心理実践実習)	三國																	
	通年	臨床心理実習ⅠAC(心理実践実習)	小林(真)		後期	臨床心理学特論Ⅱ	新居	院演習室	後期	投映法特論	黒田	院演習室					後期	人格心理学特論	石橋	院演習室
3 時 限	通年	臨床心理実習ⅠB(心理実践実習)	桑本 小林(真) 三國 新居 加藤(仁) 小田 高澤		前期	心理統計法特論	槻館	院演習室	前期	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	黒田 村部	院演習室	通年	臨床心理実習Ⅱ	小林(真) 三國 新居 桑本 加藤(仁) 小田	208	通年	臨床心理基礎実習	小林(真) 桑本	院演習室
									後期	臨床心理査定演習Ⅱ	黒田 新居	院演習室								
4 時 限	通年	臨床心理実習ⅠCA(心理実践実習)	三國		前期	心理学研究法特論	佐柳	院演習室	前期	発達臨床心理学特論	森	院演習室	通年	臨床心理実習Ⅱ	小林(真) 三國 新居 桑本 加藤(仁) 小田	208	通年	臨床心理基礎実習	小林(真) 桑本	院演習室
	通年	臨床心理実習ⅠCB(心理実践実習)	黒田																	
	通年	臨床心理実習ⅠCC(心理実践実習)	新居						後期	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	西田	院演習室								
	通年	臨床心理実習ⅠCD(心理実践実習)	小田																	
5 時 限	通年	臨床心理実習ⅠDA(心理実践実習)	小林(真)																	
	通年	臨床心理実習ⅠDB(心理実践実習)	桑本																	
	通年	臨床心理実習ⅠDC(心理実践実習)	加藤(仁)																	
	通年	臨床心理実習ⅠDD(心理実践実習)	加藤(仁)																	

集中講義科目

科目名	担当者	日程
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	藪垣 将	8/5(水)、8/6(木)、8/7(金)
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	水本有紀	8/19(水)、8/20(木)、8/21(金)
教育分野に関する理論と支援の展開	福田憲明	9/7(月)、9/8(火)、9/9(水)
心理療法特論Ⅲ	新明一星	9/14(月)、9/15(火)、9/16(水)
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	廣川 進	8/26(水)、8/27(木)、8/28(金)

2026 大学院学生便覧

■発行

山梨英和大学大学院
〒400-8555 山梨県甲府市横根町 888
電話 055-223-6027